

室伏きみ子教授がフランス共和国より教育功労勲章叙勲



このたび、室伏きみ子教授（本学大学院人間文化創成科学研究科 元教授）がフランス共和国から教育功労勲章シュヴァリエ Chevalier に叙されました。叙勲式と祝賀パーティーは、2013年4月8日に日仏会館 lespace（レスパス）にて執り行われました。

受章について、室伏教授は「ストラスブールのレイ・パスツール大学の客員教授を務め、日仏の大学院生を両国の大学で共同指導して2つの大学から学位を取得する制度『日仏共同博士課程』の設立と運営に関わって来たこと、日仏の研究者交流に尽力して来たこと、また、湯浅年子記念奨学基金を設立して、フランス大使館のご協力の下、本学関係者をフランスの大学や研究機関に留学させる道を開いたことなど、日仏両国の教育・研究推進の橋渡しを継続して行ったことを評価して下さったとのことですが、大変名誉なことであると存じます」とコメントしています。

教育功労章 L'ORDRE DES PALMES ACADEMIQUES とは

歴史：フランス教育功労章（パルム・アカデミック）は1808年にナポレオンによって創設され、高等教育をも含む教育全般に携わる人に与えられる勲章です。日本人に対しては、特にフランス語教育やフランスの学術研究を積極的に日本へ紹介した人、または日仏文化交流に寄与した人を対象とします。

なお、フランス大使館のHPには、室伏教授の受章について、以下の記事が掲載されています。

AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON

在日フランス大使館

お茶の水大学の室伏きみ子教授が教育功労章を受章 [fr]

お茶の水大学の生物学教授、室伏きみ子氏が 2013 年 4 月 8 日、フランス リヴェール-ブリス科学技術参事官により、教育功労章シュヴァリエに叙されました。



お茶の水大学の室伏きみ子教授

室伏氏は長年にわたり、がん、痛み、老化をはじめとする医療・健康分野の研究にたずさわり、これまでに開発した新しい分子のうち、いくつかで特許を取得しています。

1999 年、室伏氏はフランスのストラスブールにあるルイ・パスツール大学に客員教授として招かれ、一連の講演や共同研究活動をしました。このフランス滞在を契機に、日仏間の大学・学術交流推進のために活動するようになります。

室伏氏の尽力により、ルイ・パスツール大学とお茶の水大学の間で交流協定が締結されました。この枠組みの中で現在までに両大学の 20 名を超える研究者が相手国に派遣されています。室伏氏は「日仏共同博士課程」創設にも熱心に取り組みました。幕を閉じることになる 2010 年までに、日仏の博士課程の学生が多数、この制度を利用し相互に留学することができました。

2000 年代、室伏氏は研究制度、科学と文化の相互関係、科学と社会の相互関係を学ぶために、フランスを含む諸外国を訪問し、この国際的な経験を学生交流や市民と科学者の対話のために生かしてきました。室伏氏の貢献で設立された奨学金基金のおかげ

で、毎年、お茶の水大学の学生 1 名がフランスに留学できるようになりました。また、日本学術会議と富山房インターナショナルが共催する交流の場「サイエンスカフェ」は室伏氏が中心となり、8 年前から毎月 1 回実施されています。

室伏氏の活躍の場は、大学・科学の領域を超え、広範にわたっています。数多い著書の中には児童向けの本も含まれます。最も恵まれない人々の支援に関する委員会をはじめ、政府レベルのさまざまな委員会の委員も務めています。

